

横須賀市議会議員

おばたさおりの

# おばちゃん通信

つうしん

発行：おばたさおり

横須賀市池上2-14-10 田中ビル01号

TEL：080-1161-4031

誰もが

暮らしやすい

まちへ。

よこすか  
未来会議

## 3期目がスタートしました

4月の市議選において、5144票を得て(得票数1位)、市議としての3期目をスタート致しました。投票率が低かったこと(40.41%)には危機感を覚えています。情報発信のあり方や市民意見を聴く体制づくり、主権者教育の推進など、色々と

考えていきたいと思えます。また、この度副議長に就任致しました。議長を補佐し公平公正な議会運営に努めてまいります。



## 福祉避難所と災害時要援護者

高齢者や障害のある方、乳幼児や妊婦、その他配慮を必要とする方(要配慮者)が災害時に避難する「福祉避難所」というものがあります。

福祉避難所に避難してくる人は「災害時要援護者」であることが想定されます。

本市では、ひとり暮らし高齢者登録をしている人や、要介護認定で要介護3以上の人や障害者などがその対象となり、「横須賀市災害時要援護者支援登録カード」を提出することで、災害時要援護者名簿に登録され、町内会や民生委員など、地域の支援者に提供されます。

これらについて市民の方から「登録をしたきり、10年以上内容を更新していない」との声を伺い

ました。登録内容の更新について、ひとり暮らし高齢者については、民生委員が一斉調査のタイミングで確認しているようですが、要介護者、障害者については、申し出がないと変更できていないとのことで、現在、登録内容に変更がないかどうか、確認の手紙を発送する準備を行っているとのこと。

日頃配慮が必要な方ほど、災害時のリスクは大きくなります。

福祉関係部局と、危機管理の担当が連携し、いざという時に備えてほしいと思えます。



## 学校業務のICT化



実証実験として、電池レスセンサーを活用した学校向けICTサービスを展開している野比中学校を視察しました。

環境情報の見える化(CO2センサーや温度湿度感知)、エ

コンの自動制御、鍵施錠・照明点灯・在室状態の見える化などにより、電気代や見回りにかかる人件費の削減などに寄与するサービスとなっています。詳細な削減効果は現在算定中とのことなので、報告を待ちたいと思えます。

### ICT化で業務改善

※ICT=Information and Communication Technology (情報通信技術)の略称です。





# ジェンダー平等なまちは実現できるのか



## ▶ 市長の発言

6月8日の本会議において、上地市長が一般質問に答える中で、「女性のDNA、ミトコンドリアの中に女性が虐げられてきた歴史があって、その怨念、無念さが今の社会を構成している。その反動形成で男女共同参画の話が出ていて、女性が虐げられた歴史やその念みたいなものを浄化させないといけない」といった答弁をされました。

これらの発言は新聞等メディアにも取り上げられ、市民有志らによる署名運動も起こりました。その後6月23日の本会議において、市長は自身の発言について謝罪と取り消しを求め、議会の賛成多数により、本会議議事録から発言が削除されることになりました。

## ▶ 会派としての動き

上地市長の発言に関し、6月14日の総務、環境教育常任委員会内で関連部局に質問をしました(後述します)。

また、6月22日、よこすか未来会議として、

- ①本件の社会的影響を市長並びに市幹部職員に深刻に受け止めていただくこと
- ②ジェンダー差別を根絶するためには、市長及び市幹部職員に対して、無意識の偏見や好意的性差別の存在等について学ぶ機会を作っていただくこと

を申し入れています。

## ポジティブ・アクションはどうなる？

上地市長の発言の一部は取り消されましたが、それ以外でも、気になる点がありました。それは男女共同参画やポジティブ・アクションの否定ともとれる表現です。ポジティブ・アクションの例の一つとして、「管理職の女性割合を〇%とする」、といった割り当て(クォータ制)などがあります。

3月定例議会で行ったよこすか未来会議の代表質問では、市長は市職員の管理職の割合について、ポジティブ・アクションをとることに前向きな姿勢を示していました。

しかし、6月8日の本会議にて市長は、「女性の数がある程度しないといけないという意味が私には今でもわからない」と述べていました。

前後の流れや文脈からすると、この発言はポジティブ・アクションの中のクォータ制の意義を理解

## ポジティブ・アクションって？

CLIP!

社会的・構造的な差別によって不利益を被っているものに対して、一定の範囲で特別の機会を提供することなどにより、実質的な機会均等を実現することを目的として講じる暫定的な措置。  
(内閣府男女共同参画局より)

できない、という風に、私は捉えました。

この点について、総務部人事課に対し、本市におけるポジティブ・アクションへの考え方、検討状況は3月定例議会後からどのように変化しているのか、総務常任委員会内で質問したところ、「計画上、女性管理職の割合や課長補佐の比率の目標を掲げており、それがなかなか達成できない中で、今のままでは進まないと認識している。今後ポジティブ・アクションについて、行う方向で検討を進めている。」

との旨の答弁がありました。

来年度4月1日の人事異動に向け、今年度中には明確な方向性を出したい、とのこと。市役所におけるポジティブ・アクションについては、前向きな姿勢のままということ、今後を注視していきます。

インタビューにご興味ある方はお問い合わせください。またご意見・質問などは下記連絡先へ。

小幡沙央里  
おばたさおり

プロフィール

1985年10月3日生まれ。平作小、池上中、横浜市立金沢高校卒業。  
UCLA政治学部卒業。学習塾、フリースペース勤務を経験。  
2015年横須賀市議会議員選挙にて初当選。現在3期目。

連絡先

移動事務所 ☎ 080-1161-4031 ✉ info@obatasaoiri.com

blog  
日々の活動を  
報告しています

